安全で効率的な運用に応える

フォークリフト

フォークリフトは物流現場に欠かせない産業車両の一つであり、荷役機械の中心的役割を担い、安全で効率的な運用に応えている。フォークリフトメーカーは装備の充実や安全対策などに注力している。国際規格との整合化を図るため、日本の規格について制定・改正作業が進んでいる。今秋にはフォークリフト関係の展示会「国際物流総合展2012」や国際会議「アライアンス業界首脳会議」が開かれる。

2月生産・販売台数 10カ月連続プラス

日本産業車両協会（JIVA）がまとめた2011年のフォークリフトの生産実績・販売実績によると、生産は前年比9・5％増の11万4746台、国内販売が同10・1％増の6万2280台、輸出が同9・9％増の5万1011台といずれも2年連続で増加した。

生産は東日本大震災の影響で一時的に落ち込んだが、5月以降に部品供給が回復し、復興需要を受けて伸びた。内訳は電動車（バッテリー式）が同7・5％増の4万6166台、エンジン車（エンジン式）が同10・8％増の6万8580台だった。輸出ではロシアや東南アジア諸国連合（ASEAN）の需要が旺盛だった。

JIVAによると、12年2月の生産台数（速報値）と国内販売台数は、東日本大震災後の落ち込みから回復して以降、10カ月連続でプラスが続いている。輸出は2カ月ぶりのマイナスとなった。仕向け地別には欧州、南米、アジア向けなどが減少した。国内販売と輸出の合計では、国内が復興需要などから高い伸びとなったこともあり、輸出の落ち込みを補い、10カ月連続のプラスとなった。

この結果、12年1―2月の実績は生産台数（速報値）が前年同期比4・5％増の1万8219台。内訳は電動車が同7％増の7523台、エンジン車が同2・8％増の1万696台だった。また国内販売は同21・9％増の1万194台、輸出が同5・3％減の7516台となった。

12年の国内販売、輸出の見通しについて「内外の景気の動きが年初よりもよいので、今後見直しの必要があるかもしれないが、年初段階では国内販売は微増、輸出が微減で、合計では横ばい」（JIVA）とみている。

12年の世界市場について、ある大手フォークリフトメーカーは、欧州債務危機や新興国の成長鈍化などの影響から市場の伸びが鈍化すると予想している。

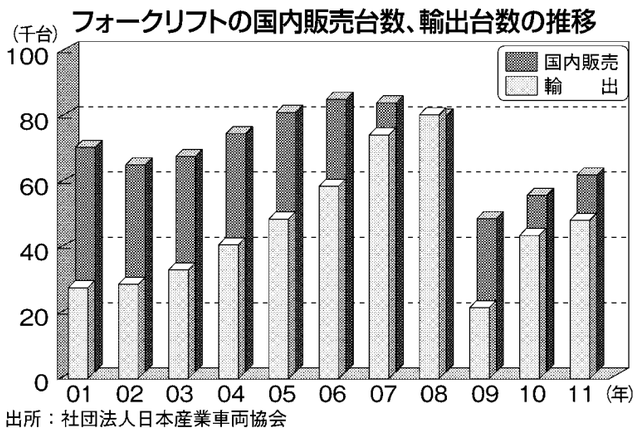
とはいえ、日本の大手蓄電池メーカーの中で、14年までにタイで行っている電動車用鉛蓄電池の生産能力を、現在の2倍に高めることを決めた企業もある。環境意識の高まりから、さらにASEAN・豪州での需要が伸びると判断し、競争力を高めることにしたもので、フォークリフトの市場ニーズが底堅いのは間違いないようだ。

フォークリフトメーカーは市場ニーズに対応するため、さまざまな装備などを提供している。例えば、チェーンで吊り上げて行っていたバッテリー交換に対して、大きくて重いバッテリーを車体右側からフォークリフトを使って簡単に交換できるようにした。これでエンジン車でしかできなかった長時間稼働も可能になっている。また、フォークリフトの電力消費量を表示する計器を装備し、1日や1カ月当たりの電気料金などを把握できるようにしている。

フォークリフトによる事故が現在も発生しており、安全機能の充実、利用者への安全教育、日常の整備・保守は欠かせないものとなっている。フォークリフトメーカーは、接触事故を未然に防ぐ、安全職場の実現を目指している。

運転者の安全確保のためにさまざま機能が配備されている。安全走行のために、前方や上方、後方の視界を広く確保するようにしている。誤操作による事故を未然に防ぐため、運転者が正しい運転操作位置にいる場合のみ荷役操作が可能となる機能を設けている。

フォークリフトの近くで働く構内作業者らの安全にも配慮しており、フォークリフトの存在を車両の周囲で働く作業者に訴えるシステムを提案している。フォークリフトの後方や、見えにくい場所などにいる作業者を検知し、注意を喚起するシステムが登場している。同システム対応のタグを付けた作業者が、あらかじめ設定された距離範囲内に入ると、警報音や回転灯で運転者と作業者に注意を促し、事故を未然に防ぐ。コンパクトで軽量なタグが振動し、危険を通報する仕組みもある。



出所：社団法人日本産業車両協会

事故防止へ機能・教育拡充

重いバッテリーをフォークリフトで簡単に交換（コマツリフト提供）

フォークリフトの重要あるブレーキなどについて、安全に関連する各種保安部品で不具合があれば事故に結びつくことが規格の制定・改正が検討されている。

工業標準化法に基づいて経済産業省に設置されている審議会である日本工業標準調査会は、3月23日に標準部会の第27回物流技術専門委員会を開催。同委員会では二つの日本工業規格（JIS）案を審議し、原案通り承認した。承認されたのは「産業車両―電気に関する要求事項」の制定案で規格番号がJIS D6028と、「フォークリフトトラック―ブレーキ性能および試験方法」の改正案で同JIS D6023。両案は5月下旬に公示される予定だ。

JIS D6028は産業車両の電気的要求事項について、国際標準化機構（ISO）の国際規格との整合性を図るのが狙い。JIS D6023では、今回の改正によって、国内のJIS運用が円滑となるばかりでなく、ISO規格との整合化によって国際水準での規格運用が期待できる。

9月11―14日には東京・有明の東京ビッグサイトで、2年に一度行われているロジスティクス専門展示会である国際物流総合展2012が開催される。日本産業機械工業会や日本物流システム機器協会、JIVAなどが主催。フォークリフト関係企業各社の最新の製品・サービスなどの出展が見込まれている。国際物流総合展2012の事務局が、11年7月に過去の総合展来場者を対象としてアンケートを実施。質問「国際物流総合展2012で見たいものは？」への回答の中に「次世代フォークリフト」が含まれていた。

日米欧中のフォークリフトメーカーのトップが毎年1回一堂に会しているアライアンス業界首脳会議が、日本をホストとして、10月26日に京都市東山区のホテルで開かれる。日本のJIVA、米国の業界団体である米国産業車両協会（ITA）、欧州の業界団体である欧州物流機械連盟産業車両部会（FEM IT）、そして中国の中国産業車両協会（CITA）が参加する。会議では変化する市場動向や、環境対応などがテーマの中心になるもよう。また、日米欧中の各団体代表者による講演会「プレジデンツ・フォーラム」を開催し、業界の動きを紹介することになっている。

日本工業標準調査会標準部会の第27回物流技術専門委員会（3月23日）

JIS制定・改正案承認

国際水準での運用期待

展示会で見たいモノは？「次世代フォークリフト」

豊富な物流ノウハウを基にトータルシステムづくりで、経営の効率化を実現できます。
高まるエコニーズにも、環境対応車でお応えします。

あなたの会社には、まだまだ改善すべきことが、手つかずのまま眠っていませんか。倉庫の改善は、経営の改善に直結する企業の重要課題です。トヨタL＆Fは、お客様それぞれの実状やニーズに合わせ、最適なソリューションをご提案する、言わば「物流パートナー」。物流現場の問題点の把握に始まり、物流機器の選定、さまざまな機器を組み合わせたシステム構築、そしてメンテナンスや安全指導まで、トータルでお手伝いし、物流ビジネスの効率アップを目指します。またハイブリッドや電動車の導入により、トータルで今企業に求められる環境負荷低減の課題にもお応えします。

物流ビジネスにもっと効率を。

ますます高まるエコニーズにも、豊富な環境対応車ラインアップでお応えします。

■全国 トヨタL&F 取り扱い店
トヨタL＆F旭川（株）…… 0166-66-6161
トヨタL＆F札幌（株）…… 011-851-6211
トヨタL＆F釧路（株）…… 0154-51-8521
トヨタL＆F青森（株）…… 017-742-1121
トヨタL＆F岩手（株）…… 019-638-4611
トヨタL＆F宮城（株）…… 022-351-5621
トヨタL＆F秋田（株）…… 018-826-0800
トヨタL＆F山形（株）…… 023-622-1911
トヨタL＆F福島（株）…… 024-943-3051
トヨタL＆F茨城（株）…… 029-292-1941
トヨタL＆F栃木（株）…… 028-661-5000
トヨタL＆F群馬（株）…… 027-361-5000
トヨタL＆F埼玉（株）…… 048-596-1231
トヨタL＆F千葉（株）…… 043-242-0555
トヨタL＆F東京（株）…… 03-3472-5211
トヨタL&F神奈川（株）…… 045-625-1811
トヨタL＆F新潟（株）…… 025-273-3191
トヨタL＆F山梨（株）…… 055-268-0644
トヨタL＆F富山（株）…… 076-439-3333
トヨタL＆F石川（株）…… 076-287-5000
トヨタL＆F福井（株）…… 0776-38-0018
トヨタL＆F長野（株）…… 026-286-3200
トヨタL＆F静岡（株）…… 054-251-0333
トヨタL＆F中部（株）…… 052-882-6411
トヨタL＆F近畿（株）…… 06-6462-5301
トヨタL＆F兵庫（株）…… 0798-38-1678
トヨタL＆F奈良（株）…… 0744-33-6081
トヨタL&F和歌山（株）…… 073-446-1235
トヨタL＆F岡山（株）…… 086-241-5043
トヨタL＆F広島（株）…… 082-279-0300
トヨタL＆F山口（株）…… 0835-38-3111
トヨタL＆F徳島（株）…… 088-626-0422
トヨタL＆F香川（株）…… 087-874-2300
トヨタL&F西四国（株）…… 089-967-6555
トヨタL＆F福岡（株）…… 092-475-4009
トヨタL＆F熊本（株）…… 096-322-5391
トヨタL＆F大分（株）…… 097-552-1001
トヨタL＆F宮崎（株）…… 0985-39-5115
トヨタL&F鹿児島（株）…… 099-261-0001
沖縄トヨタ自動車(株)L&F部 …… 098-860-5008

※ トーイングトラクターは、コンセプトモデルです。
市販の車種はカラーが異なります。

TOYOTA L&F
Logistics & Forklift

お問い合わせはお近くのトヨタL&F取り扱い店または、お客様相談センターまで　全国共通 フリーダイヤル 0120-35-0275　オープン時間／月曜～金曜（除く祝日）9:00～12:00、13:00～17:00
「改善実例集」プレゼント！ ≫詳しくは www.toyota-lf.com
Produced by 豊田自動織機